小学校国語教科書に見るオノマトペと日本語教育

Japanese Education and Onomatopoeia Seen in Elementary School Language Textbooks

岡谷 英夫

國學院大學大学院博士課程後期文学専攻

Hideo Okaya

Kokugakuin Graduate Doctoral Literature Major.

Oka2491@abelia.ocn.ne.jp

Keywords: onomatopoeia, elementary school language textbook, Japanese education

Summary

Sensory words such as onomatopoeia are difficult for students of Japanese because their cultures are different. How onomatopoeia are dealt with in elementary school compulsory education has been reviewed with the aim of considering how it can be applied to students of Japanese as a second language. Five Japanese textbooks that are currently in use at elementary schools for native speakers of Japanese were examined to see which onomatopoeic words appear and to what extent. A total of 6,443 onomatopoeic words were listed in these textbooks. Of the vast range of 6,443 words from the originally wide variety of words as counted from grade 1 to grade 6 from all the Japanese language textbooks, 92 were high-frequency onomatopoeic words which are proposed as the “basic onomatopoeia for beginners” as well as what kind of onomatopoeia and to what extent. These 92 high-frequency onomatopoeic words appeared 3,416 times, or 53.02% of the total 6,443 onomatopoeic words. If these 92 onomatopoeic words were studied, then over 50% of onomatopoeic words would be comprehensible to learners of Japanese. In addition, which verbs appear in conjunction with these onomatopoeic words together with their frequency are indicated.

1. はじめに

本研究は、日本語学習者にとって習得困難とされるオノマトペに関し、義務教育である小学校の国語教科書ではどのように取り扱われているのかを調査し、日本語教育への応用を考察することを目的とする。

これまで小学校の国語教科書のオノマトペを調査したものは、小野が光村図書出版株式会社の小学校 1 年生から 6 年生の国語教科書から、擬音語・擬態語の使用実態を調査・分析したもの以外は、稿者が調査した限りでは見られなかった[小野 99]。

天沼は「日本語を学ぶ外国人にとっては、この擬音語・擬態語は必ずしも分かりやすい言葉でもなければ、自由に使える言葉でもないのである。これは、擬音語・擬態語が象徴的な言語記号である以上、むしろ当然のことというべきであろう」と述べ、オノマトペの習得の困難さについて述べている[天沼 74]。

また、彭は「大学学部時代、通訳の仕事をした際に最も困惑したのは日本語のオノマトペであった」と述べ、「オノマトペを上手に使用すれば、より生き生きとした滑らかな日本語になり、作文でも上手に使用すれば、細かな描写ができ、臨場感あふれる文章になる」と自らの経験からオノマトペの魅力について述べている[彭 07]。

さらに彭は「オノマトペ力は日本語学習者の日本語力を測る重要な物差しとなっている」とオノマトペ習得の重要性を述べている[彭 07]。

日本語学習者にとって習得困難とされるオノマトペが、義務教育である小学校の国語教科書ではどのように取り扱われているのだろうか。稿者のこの疑問が本研究の出発点となった。本研究では、2008 年に学習指導要領

が改訂され、2011 年度から完全実施された後の「ゆとり教育」後の最新の小学校国語教科書を調査し、初級から学習すべき基本的なオノマトペを提案することにより、日本語学習者がどのようなオノマトペを、どの程度学習したらよいのかを示したい。

2. 調査概要

2.1 調査内容

日本語学習者が習得困難とされるオノマトペであるが、日本語母語話者児童が使用している最新の小学校国語教科書において、どのようなオノマトペがどの程度出現しているのかを調査した。さらに、高頻度のオノマトペに共起する動詞とその頻度を調査した。

2.2 調査対象資料

次の小学校（1 年生～6 年生）国語教科書（平成 22 年 3 月 16 日 文部科学省検定済）が調査対象資料である。

- ① 学校図書株式会社（以下、「学校図書」）
- ② 教育出版株式会社（以下、「教育出版」）
- ③ 株式会社 三省堂（以下、「三省堂」）
- ④ 東京書籍株式会社（以下、「東京書籍」）
- ⑤ 光村図書出版株式会社（以下、「光村図書」）

2.3 調査方法

上記 2.2 記載の 5 社から出版されている、最新の小学校国語教科書（総頁数 8,902）における、単位語・延べ語数、見出し語・異なり語数の全数調査を行った。単位語・延べ語数とは、「どの単語も同じように一つ二つと数えることを「延べ」で数えるという。そして、そのようにして数え

た単語の総数を延べ語数, 数えられた単語のことを単位語(token, running words)という」[伊藤 02]. また, 見出し語・異なり語数とは, 異なる単語の種類の数え方で, 「数えた単語の総数を異なり語数, 数えられる単語のことを見出し語(type, different words, lemmas)という」[伊藤 02].

調査範囲は, 調査対象資料の表表紙から裏表紙までの, 全ての語を調査対象とした. 「擬音語・擬態語辞典」[浅野 78] (以下, 「浅野辞典」), 「現代擬音語擬態語用法辞典」[飛田 02] (以下, 「飛田辞典」), 「暮らしのことば 擬音・擬態語辞典」[山口 03] (以下, 「山口辞典」) の 3 辞典のいずれかの辞典に記載 (見出し語, 類義語, 同族語) されている語で, 調査対象資料の平仮名表記および片仮名表記のオノマトペを抽出した. なお, 上記 3 辞典を選定した理由は, 浅野辞典はこれまでのオノマトペに関する先行研究で多く使われているためである. また, 飛田辞典および山口辞典は比較的最近出版されたことによる.

オノマトペのうち, 犬を指し「わんわんがいる」の「わんわん」や自動車を指して「ぶーぶーだ」の「ぶーぶー」などの乳幼児が使う名詞用法のオノマトペ, 方言および古典のオノマトペは除外した.

オノマトペの表記は全て平仮名書きとした. 「一般には擬音語はカタカナで, 擬態語はひらがなで書くことになっている」が, 作者による使用はまちまちである[秋元 10]. 本稿で使用した三辞典の見出し語は, 全て「平仮名」表記であり, 以下の表記は平仮名に統一する.

3. 調査結果および調査結果の分析

3.1 小学校国語教科書におけるオノマトペの数量

全教科書中のオノマトペの異なり語数は 1,087 語, 延べ語数は 6,443 語であった. 学年別の平均延べ語数で見ると, 1 年が 129.4 語と最も少ないのは, 教科書のページ数が少なく文字も大きいことから当然の数値と言える. 学年が進行するにつれ徐々に増えていくが, 最上級生の 6 年になると 5 社平均で 217.6 語になり, 3 年 237.0, 4 年 252.4, 5 年 255.8 に比べ減少する. 出版社別にみると, 東京書籍と光村図書は 4 年が最も多いが, 学校図書と教育出版では 5 年が最も多く, 三省堂では 6 年が最も多くなっている. オノマトペの指導において, 学年進行に伴って意図的には増やしてはいない様子がうかがわれる.

3.2 使用率分布図

調査したオノマトペの使用率 (使用頻度) と順位 (異なり語数) の関係を図にしたものが, 「図 1 使用率分布図」である.

図 1 使用率分布図 (横軸: 順位, 縦軸: 使用率 (%))

図 1 「使用率分布図」は, 使用率の高い語は数が少なく, 使用率の低い語は数が多いことを示している. 真田は一般語彙の語彙調査の流れについて「使用度数の高い語は非常に数が少なく, 使用度数の低い語は非常に数が多い. すなわち, よく使われるものは, きわめてよく使われ, しかも, そういう語はきわめて少数であるのが常である」と述べている[真田 77]. オノマトペを対象とした本研究の語彙調査も, 一般語彙と同様の傾向を示した.

3.3 頻度分布表

下記の表 1 は, 「使用頻度ごとの異なり語数の分布状態を把握するために作成する」とされる[伊藤 02].

頻度 17 以上の異なり語数は 74 語で, 全異なり語数 (1,087 語) のわずか 6.81% を占めているにすぎないが, 延べ語数は 3,363 語で全延べ語数 6,443 語の 52.20% と半数以上に上がっている. また, 頻度 1 および頻度 2 の異なり語数は 623 語で, 全異なり語数 1,087 語の 57.31% と半数以上を占めるが, 延べ語数は 822 語で, 全延べ語数 6,443 語の 12.76% とわずか 1 割強しか占めていない.

以上のことから, 高頻度の少数の見出し語のオノマトペを学習することにより, 多数の単位語のオノマトペが理解でき, 効率的なオノマトペの学習になると考える.

表 1 「小学校国語教科書におけるオノマトペ」の頻度分布表
階級幅は 2^n ($n=0, 1, 2, 3, \dots$), 階級数 10

頻 度	異なり語数	比率 (%)	延べ語数	比率 (%)
1	424	39.01	424	6.58
2	199	18.31	398	6.18
3~4	191	17.57	655	10.17
5~8	128	11.78	796	12.35
9~16	71	6.53	807	12.53
17~32	44	4.05	967	15.01
33~64	18	1.66	790	12.26
65~128	8	0.74	793	12.31
129~256	3	0.28	499	7.74
257~	1	0.09	314	4.87
計	1,087	100.00	6,443	100.00

4. 考察

4.1 初級から学習するオノマトペの原案

図 1 「使用率分布図」をみると順位 50 あたりまで急激

に下降し、その後徐々に下降した後横ばいになっている。小学校国語教科書に出現したオノマトペの異なり語数は1,087語であるので50語は4.60%となる。

図1「使用率分布図」において、急激に下降しその後徐々に下降中の、順位100.5までの114語を「初級から学習するオノマトペの原案」とする。

4.2 初級から学習するオノマトペの提案

真田は、「①まず、範囲の広い語は少ない語よりも重視する②次に、頻度の多い語は少ない語よりも重視する」と述べている[真田 77]。本研究での「範囲」とは、学年ごとのくくりで、小学校1年から6年までの6学年全てに出現する語を「最も範囲が広い語」とする。

「初級から学習するオノマトペ」として妥当であるかを検証するため、次の2点の基準を設定する。そして、この基準に基づいて除外等の調整をし、最終的な案を提示する。第1に、高頻度であるが、狭い範囲（小学1年生から6年生の6学年の半数未満である「2」以下の語）の語は除外する。第2に、清濁音等の違いはあるが、意味が近い語は「頻度」と「使用範囲」を考慮し、除外するかしないかを決定する。

上記第1により除外した語は14語、第2により除外した語は8語で、計22語を除外した。

第1および第2により除外した後のオノマトペの語数は92語で、表2「初級から学習する基本オノマトペ（92語）」のとおりである。この92語を初級から学習・指導すべき基本オノマトペとして提案する。

この見出し語92語は全体の見出し語1,087語の8.46%であるが、見出し語92語の延べ語数3,416語は、全体の延べ語数6,443語の53.02%にあたる。

わずか92語のオノマトペを習得することにより、出現するオノマトペの50%強を理解することになる。

さらに、稿者が小学校1年生および2年生の国語教科書に出現した高頻度のオノマトペの一覧表を、ある大学院修士課程日本語教育専攻の留学生に見せたところ、ほとんどのオノマトペの意味は解らないとのことであった。この留学生は日本語能力試験旧試験の1級合格者であるが、「日本語能力試験の1級でよく出るオノマトペに関する語彙は、小学生レベルまでいかないのではないか」と述べていた。日本語の特徴の一つであるオノマトペを、初級段階から学習できる環境を整え、先述のような日本語学習者を減らすべきであると考えた。

高橋は、日本語学習者のオノマトペ自主学習用教材として、「日本語を楽しもう！擬音語って？擬態語って？」を作成し、国立国語研究所のウェブで公開している[高橋 07]。対象者のレベルは、用例は中級後期、語彙は日本語能力試験旧2級レベル以上である[高橋 07]。また、橋本は、職業研修・就業を目的として訪日した外国人日本語学習者を対象とした「オンライン学習支援システム ONOMATOPENARAI」を試作した[橋本 10]。初級以上の

学習者を対象とし、その特徴は「特定目的の日本語学習の支援を目的として専門語彙を含めた言い換え表現の提供とシステム未登録語彙へのウェブ検索による暫定的即時対応」にある[橋本 10]。

本研究で提案した「初級から学習する基本オノマトペ」と自主学習用サイトを併用することにより、より効果的なオノマトペの学習ができると考える。

表2 初級から学習する基本オノマトペ（92語）

番号	順位	見出し語	頻度	番号	順位	見出し語	頻度
1	1	はっきり	314	47	49	くるくる	21
2	2	しつかり	177	48	49	さっぱり	21
3	3	ずつ	163	49	49	そろそろ	21
4	4	ゆつくり	159	50	49	ひょい	21
5	5	びつくり	127	51	49	ひらひら	21
6	6	じつ	121	52	49	わんわん	21
7	7	すつかり	109	53	53	ぼうつ	20
8	8	どんどん	102	54	54	ぐつたり	19
9	9	きちん	99	55	57.5	うきうき	18
10	10	そつ	94	56	57.5	ころころ	18
11	11	とんとん	75	57	57.5	じつくり	18
12	12	うん	66	58	57.5	すいすい	18
13	13	どきどき	58	59	57.5	ぞろぞろ	18
14	14.5	ちゃん	51	60	57.5	ばちばち	18
15	14.5	びつたり	51	61	62	さっさ	17
16	16	きらきら	49	62	62	ちょこん	17
17	17	にこにこ	48	63	62	どっ	17
18	18	ほっ	46	64	65	ざわざわ	15
19	19.5	ふわふわ	45	65	65	しげしげ	15
20	19.5	わくわく	45	66	65	ひよっ	15
21	21	ぴかぴか	43	67	70.5	がらがら	14
22	22	ぱっ	40	68	70.5	ごろごろ	14
23	23	びよん	39	69	70.5	しいん	14
24	24	にっこり	38	70	70.5	せっせ	14
25	25	ぼんやり	35	71	70.5	どん	14
26	26.5	ばたばた	33	72	70.5	のんびり	14
27	26.5	はっ	33	73	70.5	ふっ	14
28	29	ぐっ	30	74	70.5	ぼつん	14
29	29	こんこん	30	75	76.5	ちらちら	13
30	29	つつつつ	30	76	76.5	つつん	13
31	31	どっさり	27	77	76.5	わいわい	13
32	33	ぎゅっ	25	78	76.5	わん	13
33	33	たっぶり	25	79	81	かんかん	12
34	33	ぶるぶる	25	80	81	きっぱり	12
35	36	ぐんぐん	24	81	81	すべすべ	12
36	36	そろり	24	82	81	どきん	12
37	36	とことこ	24	83	81	ぼん	12
38	39	がたがた	23	84	88	きっ	11
39	39	びん	23	85	88	ちょい	11
40	39	ゆらゆら	23	86	88	ちょっぴり	11
41	43	うっとり	22	87	88	でこぼこ	11
42	43	ぐるぐる	22	88	88	ばんばん	11
43	43	こっそり	22	89	88	ひっそり	11
44	43	さっ	22	90	88	ぶつぶつ	11
45	43	そっくり	22	91	88	ふらふら	11
46	49	がっかり	21	92	88	ぶらぶら	11
				計	—	—	3,416

表 2「初級から学習する基本オノマトペ(92 語)」の順位の表し方は、伊藤が記している次の方法による[伊藤 02].

最初にすべての見出し語に通し番号をつける(第 1 の順位系列). つぎに最初の見出し語から使用率を見ていき, 同じ使用率をもつ見出し語のグループがあった場合は, まず, そのグループの見出し語に 1 を足した数を 2 で割る. そして, その数をそのグループの一つ前の見出し語の順位に足して, それをそのグループの見出し語の順位数とする方法である(第 2 の順位系列).

日本語母語話者は, 言語習得が開始される乳児の頃から, 周辺の人の影響により犬を「わんわん」, 牛を「もーもー」, 馬を「ばかばか」などの名詞用法のオノマトペを使った呼び方を習得する. さらに, 成長するに従い家族や友達, テレビ, 漫画などの影響を受けてオノマトペを自然習得すると考えられる. その後, 小学校入学後の国語の学習について文部科学省では, 「小学校においては日常生活に必要な国語の能力の基礎を, (中略) それぞれ確実に育成するようにする」と定めている[文部科学省 13]. さらに国語科では, 「言語の使い方の正誤・適否・美醜」などについての感覚である言語感覚を養う授業が行われている[文部科学省 13].

日本語の語彙の特色の一つであるオノマトペを, 日本語学習者は国語教育に準じて, 表 2 の 92 語のオノマトペを積極的に学習することが重要であると考えられる.

一方, 非母語話者のオノマトペの学習開始時期について, 秋元は「オノマトペの学習はすでに基本的な文型を習得し, 表現の多様化を目指す中・上級レベルから始められており, その場合も教育計画に沿ったものではないのが現状である」と述べている[秋元 07].

母語話者と非母語話者のオノマトペ学習開始時期は異なるが, 非母語話者も母語話者と同様に日本語学習開始時期である初級段階からオノマトペの学習を開始すべきであると考えられる.

4.3 「初級から学習する基本オノマトペ」に共起する動詞

日本語学習者へのオノマトペの指導にあたり, 玉村は「語形に注目させる指導は重要ではあるが, やはり, 当該語と共起する語を教えることが一段と重要であるのは, 他の一般語の場合と同じである」とオノマトペに共起する動詞の指導の重要性について述べている[玉村 89].

また, 日本語能力試験 N1・N2 レベルの学習者を対象としたオノマトペの学習ドリルでは, 日常よく使うオノマトペを, 動詞と一緒に覚えられよう構成されている[奥村 08].

日本語学習者がオノマトペと併せて共起する動詞を学習できるよう, 表 2「初級から学習する基本オノマトペ」

の 92 語について, 副詞として機能するオノマトペに共起する動詞の表現と共起頻度を調査した.

調査に先立ち, 動詞の種類と共起頻度カウントのための分類基準を設定した.

用例から, 述語が省略されている文, および述語があっても動詞ではない文は「その他」として集計した.

オノマトペと共起する動詞の種類を分類するにあたり, 玉岡を一部変更して準用し, 次の 10 通りの基準に従った[玉岡 11]. 第 1 に, 活用の変化, 時制の違い, 使役, 受身, 敬語等の使用は, 原形として分類した. 第 2 に, 自動詞と他動詞は, それぞれが個別の形を持っている場合は別々に分類した. 自他同形の動詞については 1 種類とした. 第 3 に, 複合動詞は 1 つの動詞とみなし, それを構成する個々の動詞とは別に分類した. 第 4 に, 「形容詞等+なる・する」など, 語幹のとれない動詞は, すべて「する」「なる」として 1 つの種類とした. 第 5 に, サ変動詞「—する」または「—できる」は, 前項が何であれすべて「する」または「できる」とした. 第 6 に, テ形で動詞がつながる場合は, 基本的に前の動詞のみを採って分類した. ただし, 第 7 として, テ形で動詞がつながる場合でも, 前の動詞が後の動詞を修飾している場合は, 後ろの動詞を採って分類した. さらに第 8 として, テ形でつながる動詞でも, 国語辞典にその形で掲載され 1 語になっているとみなせるものは, 合わせた形で 1 種類とした. 第 9 に, 動詞が肯定か否定かの区別はせずに共起回数を数えた. 第 10 に, 動詞で終了する慣用句はそのままの形で分類した.

共起動詞の表記は小学校国語教科書の性質上平仮名表記が多いが, 「はなす」(話す・放す) や「くわえる」(加える・啜える)等の紛らわしさを避けるため, 文脈から判断し漢字に変換した. 意味の数は山口辞典の意味の数であり, 丸数字は飛田辞典の意味の数である.

調査結果は付録「オノマトペと共起する動詞と頻度」のとおりである.

調査結果から, 共起する動詞の単義・多義がどのような傾向を示すのか, さらに, 擬音語と擬態語の使用実態を次に示した.

単義のオノマトペの数は 26 語で, 残りの 66 語は多義のオノマトペであった(2 つの意味は 21 語, 3 つの意味は 20 語, 4 つの意味は 11 語, 5 つの意味は 7 語, 6 つの意味は 6 語, 10 の意味は 1 語). 以上のことから, 多義のオノマトペの数は, その意味の数が増えるにしたがい減少している. また, 擬音語だけの使用のオノマトペの数は 6 語であり, 擬音語と擬態語の両方での使用は 13 語であり, 残りの 73 語は擬態語だけの使用であった. 以上のことから, 今回取り上げた範囲(92 語)でのオノマトペの使用は, 擬態語が多い傾向であった.

日本語学習者は, オノマトペとそれに共起する動詞を併せて学習することが重要であると考えられる. さらに, 多義のオノマトペについては頻度の高いオノマトペから学習することが, 効率的な学習となると考える.

5. まとめと今後の課題

5.1 まとめ

本研究では、「ゆとり教育」後の最新の小学校国語教科書の全数調査を行い、「初級から学習する基本オノマトペ（92語）」を提案し、さらにこの92語に共起する動詞の表現とその頻度を提示し、日本語教育への応用を示した。

5.2 今後の課題

本研究では小学校国語教科書に出現するオノマトペの数量と共起動詞等について調査したが、今後はそれぞれのオノマトペおよび共起動詞等の場面に対応する用例と併せて、類義語も指導できる副教材の作成および教授法の考案が必要であると考ええる。

さらに、清濁のオノマトペは強調関係を表すものと表さないものがある。強調関係を表すオノマトペとしては、「星がきらきら輝いている」と「太陽がきらきら照りつけている」や「風がひゅうひゅう吹いている」、「風がびゅうびゅう吹いている」および「風がびゅうびゅう吹いている」などがある。また、強調関係を表さないオノマトペとしては、「喉がからからに渴く」と「風邪をひいて喉ががらがらだ」などがある。このような、清音・濁音・半濁音のオノマトペをセットで指導し、日本語学習者が理解しやすい副教材の作成および教授法の考案が必要であると考ええる。

◇参考文献◇

- [秋元 07]秋元美晴:日本語教育におけるオノマトペの位置づけ:日本語学,Vol.26, pp.29-33 明治書院(2007)
- [秋元 10]秋元美晴:日本語教育能力試験に合格するための語彙12, p.124 アルク(2010)
- [天沼 74]天沼寧:擬音語・擬態語について:擬音語・擬態語辞典, p.5 東京堂出版(1974)
- [彭 07]彭飛:ノンネイティブから見た日本語のオノマトペの特徴:日本語学,Vol.26, p.48 明治書院(2007)
- [橋本 10]橋本喜代太,竹内和広:外国人日本語学習者のオノマトペ習得支援システムのプロトタイプ開発:日本教育工学会論文誌, 34, pp.69-71(2010)
- [伊藤 02]伊藤雅光:計量言語学入門, pp.24-89 大修館書店(2002)
- [文部科学省 13]文部科学省:小学校学習指導要領解説 国語編,東洋館 pp.3-10(2013)
- [奥村 08]奥村真希,釜淵優子:日本語単語ドリル〜ぎおん語・ぎたい語〜:アスク出版(2008)
- [小野 99]小野米一,王婉莹,スーザン・ジェビット,田原佳世,張海蓉:小学校国語教科書に見る擬音語・擬態語:鳴門教育大学研究紀要,人文・社会科学編第14巻(1999)
- [真田 77]真田信治:基本語彙・基礎語彙:岩波講座 日本語9 語彙と意味,岩波書店 pp.101-105(1977)
- [高橋 07]高橋悦子:日本語学習者のための擬音語・擬態語サイト——「日本語を楽しもう!擬音語って?擬態語って?」の作成——:日本語学 26(7), pp.57-59(2007)

[玉村 89]玉村文郎:日本語音象徴の特徴とその教育:日本語教育 68, p.8 日本語教育学会

[玉岡 11]玉岡賀津雄,木山幸子,宮岡弥生:新聞と小説のコーパスにおけるオノマトペと動詞の共起パターン:言語研究, 139, pp.63-64(2011)

辞典

[浅野 78]浅野鶴子:擬音語・擬態語辞典,角川書店(1978)

[飛田 02]飛田良文・浅田秀子:現代擬音語擬態語用法辞典,東京堂出版(2002)

[山口 03]山口仲美:暮らしのことば 擬音・擬態語辞典,講談社(2003)

資料

教科書小学校国語科用『国語』1年〜6年

文部科学省検定済(平成22年3月16日)

学校図書株式会社

教育出版株式会社

株式会社三省堂

東京書籍株式会社

光村図書出版株式会社

[担当委員:小松 孝徳]

2014年4月26日 受理

著者紹介

岡谷 英夫(学生会員)

2013年桜美林大学大学院
言語教育研究科日本語教育
専攻修士課程修了2014
年國學院大学大学院文学
研究科博士課程後期文学
専攻入学

付録

オノマトペと共起する動詞と頻度

はっきり(順位1:頻度314:動詞種類36:意味の数3)
させる(116),する(62),分かる(24),書く(16),伝
わる,話す(以上13),示す(12),覚える,読む(以上6),言
う(5),ある,伝える,見える(以上4),浮かぶ,決まる,述
べる,見る,分かれる(以上2),表す,言い切る,言える,入
れる,教える,思い出す,聞き取る,聞こえる,断る,知らせ
る,知る,出す,違う,繋がる,残る,見せる,申す,分ける,そ
の他(以上1)

しっかり(順位2:頻度177:動詞種類75:意味の数5)
する(25),読む(13),見る(10),聞く(7),覚える(6),

繋ぐ(5), 考える, 身に付ける, 結ぶ, やる(以上 4), 抱く, 掴む, 洗う, 持つ, 固める, 握る(以上 3), 描く, 伝わる, 編む, 握り合う, 踏ん張る, 出す, 聞き取る, 挟む, 根づく, 掘る, 留める(以上 2), 縛りつける, 働く, 根を張る, 煮込む, 突き刺さる, 取る, 聞き合う, 守る, 思い出す, 重ねる, 読み取る, 寄せ合う, 入る, 書く, 付いて来る, 食いつく, 開ける, 食べる, 包む, 泳ぐ, 育てる, 数える, 動かす, 生きる, 押さえる, 言える, 届ける, 抑える, 入れる, 啜る, 刻み込む, できる, 結びつく, 捉える, 果たす, 打つ, 聞こえる, 張る, 捕まる, 胸を張る, 抱える, 伝える, 握り締める, 交わす, 漕ぐ, 確かめる, 走る, 増やす(以上 1), その他(7)

ずっ(順位 3: 頻度 163: 動詞種類 49: 意味の数 3)

見る(11), 続く(9), する, なる(以上 7), 考える(6), いる, 泣き続ける, 続ける(以上 4), 生きる, 知る, 離れる(以上 3), 思う, 伝える, 付く, 暮らす, 立てる(以上 2), ある, めぐる, 過ごす, 感じる, 繋ぐ, 決める, 降る, 残る, 使う, 志す, 思い込む, 思い続ける, 取りに来る, 取る, 習う, 書き込む, 遡る, 待ち続ける, 待つ, 置く, 眺める, 追い続ける, 提げる, 伝わる, 動き続ける, 動く, 懂れる, 悩ます, 描く, 並ぶ, 閉じる, 目指す, 弦く(以上 1), その他(59)

ゆっくり(順位 4: 頻度 159: 動詞種類 59: 意味の数 3)

歩く(14), 話す(13), する, 読む(以上 10), 泳ぐ(6), 言う(5), 流れる(4), 手繰る, できる, なる, 開く, 休む(以上 3), 飲む, 下りる, 回る, 吸う, 近づく, 区切る, 消える, 染め始める, 吐く, 動く, 放す(以上 2), ある, くぐる, くつろぐ, 振り返る, 飲み込む, 泳ぎ続ける, 過ぎる, 回す, 開ける, 楽しむ, 掛ける, 寄る, 見渡す, やる, 光り出す, 向かう, 広がる, 考える, 取る, 出す, 上がる, 上げる, 食べ始める, 進む, 摂る, 選ぶ, 続ける, 動かす, 聞く, 歩き出す, 目を通す, 戻る, 揺れる, 落ち着く, 立ち上がる(以上 1), その他(25)

びっくり(順位 5: 頻度 127: 動詞種類 3: 意味の数 1)

する(116), させる, 走る(以上 1), その他(9)

じっ(順位 6: 頻度 121: 動詞種類 30: 意味の数 3)

する(37), 見つめる(21), 見る(19), 覗く(5), 待つ(4), 座る(3), いる, うずくまる, 見守る, 耳を澄ます, 探る(以上 2) 聞く, 追う, 睨みつける, 考える, 覗き込む, なる, 目を据える, 耳を傾ける, 注ぐ, 見張る, 動く, 見入る, 潜める, 目を凝らす, 耐える, 立つ, 隠れる, 構える, 休む(以上 1), その他(3)

すっかり(順位 7: 頻度 109: 動詞種類 41: 意味の数 1)

なる(26), する(10), 凍る, なつく(5), 忘れる, 無くす(4), 弱る, 変わる, 消える(以上 3), 疲れる, 釣り込む, 慌てる, 気に入る, 塗る, 枯れる, 覆う, 食う, 老いる, 知り尽くす, むしり取る(以上 2), 引き込む, 疲れ果てる, 売れる, 溶け込む, 驚く, 涙ぐむ, 止む, 喜ぶ, 消え失せる, 沈む, 照れる, 欠ける, 包まれる, 詰め込む, 乾く, 引きずり出す, 入る, 狼狽える, 脱ぐ, 奪う(以上 1), その他(4)

どんだん(順位 8: 頻度 102: 動詞種類 43: 意味の数 2)

なる(15), する(9), 増える(7), 走る, 伸びる, 蹴飛ばす(以

上 4), 変わる, 進む, 落ちる(以上 3), 広がる, 高まる, 増す, 考える, 過ぎる, 太る, 上がる, 減る, 出る, しまう(以上 2), 入る, 下る, 歩く, ねじる, 塗り替える, 覚える, 聞く, まぶす, 鳴る, やる, 追いかけて回す, 衰える, 読む, 洗う, 飛ぶ, 溢れ出る, 削る, 行く, 膨らむ, 降る, 引き出す, 続く, 引き込む, 書く(以上 1), その他(6)

きちん(順位 9: 頻度 99: 動詞種類 39: 意味の数 1)

する(21), 書く(12), 伝える(9), 伝わる(7), 見る(4), 摂る, 受け止める(以上 3), 言う, 入れる, 分ける, 話す, 確かめる, 食べる(以上 2), 座る, 立てる, 並ぶ, 書き写す, 答える, 詰める, 削る, 乗る, 戻す, 畳む, 守る, 教える, 届く, 整える, 分かる, やる, 聞く, 折れる, 並べる, 洗う, 踊る, 打つ, 使う, まとめる, 覚える, 言える(以上 1), その他(2)

そっ(順位 10: 頻度 94: 動詞種類 51: 意味の数 3)

言う(10), 近づく(7), 回る(5), 置く, 吹く, 覗く, 下ろす, 思う(以上 3), 飛ぶ, 入れる, 当てる, 歌う, 撫でる, 降る, 取る, 撒く, 囁く(以上 2), 隠す, めぐる, 抜け出す, 開く, 放す, 詰める, 見る, 消える, 広げる, 消え去る, 抱える, 上げる, 離れる, 弦く, 働きかける, 教える, 忍ばせる, 触る, 飛ばす, 伸ばす, 浮かべる, 振り向く, 暮らす, 押さえる, 抱き上げる, 洗う, 埋める, 近づける, 立てる, 掴む, 近寄る, 乗る, 突き出す, 譲る(以上 1), その他(5)

とんとん(順位 11: 頻度 75: 動詞種類 8: 意味の数 3)

叩く(9), 渡る(3), 言う(2), なる, 駈ける, する, 織る, 始める(以上 1), その他(56)

うん(順位 12: 頻度 66: 動詞種類 6: 意味の数 2)

切る(2), 言う, 蒔く, 暴れる, 貰う, 頷く(以上 1), その他(59)

どきどき(順位 13: 頻度 58: 動詞種類 2: 意味の数 2)

する(51), させる(1), その他(6)

ちゃん(順位 14.5: 頻度 51: 動詞種類 30: 意味の数 4)

する(6), ある(5), 聞く, 分かる, 入れる(以上 3), 作る, 開ける, 持つ, 見える, 呉れる, やる(以上 2), 踏む, 知る, 見る, 浮かぶ, 置く, 払う, 入る, 与える, 吸う, いる, 起きる, 聞こえる, 謝る, 並ぶ, 取り戻す, 立ち止まる, 話す, 消える, 書く(以上 1)

びったり(順位 14.5: 頻度 51: 動詞種類 15: 意味の数 4)

合う(12), くっ付く, 思う(以上 3), する(2), ござる, なる, 感じる, 寄り添う, 挟む, 合わせる, 使う, 貼る, 付く, 付ける, 分かる(以上 1), その他(20)

きらきら(順位 16: 頻度 49: 動詞種類 12: 意味の数 1)

光る(19), 輝く(5), 笑い出す(3), こぼす, こぼれる, 固まる, 照らす(以上 2), きらめく, させる, する, ゆれる, 笑い出す(以上 1), その他(9)

にこにこ(順位 17: 頻度 48: 動詞種類 6: 意味の数 1)

する(25), 笑う(8), 頂く, 頷く, 見上げる, 渡す(以上 1), その他(11)

ほっ(順位 18: 頻度 46: 動詞種類 3: 意味の数 2)

する(44), 息をつく, 撫で下ろす(以上 1)

ふわふわ(順位 19.5: 頻度 45: 動詞種類 9: 意味の数 3)

する,揺れる(以上10),飛んで行く(8),下りる(4),飛ぶ(2),
ある,飛ばす,飛び始める,飛んで来る(以上1),その他(7)
わくわく(順位 19.5 : 頻度 45 : 動詞種類 3 : 意味の数 1)
する(32),させる(5),広がる(1),その他(7)
びかびか(順位 21 : 頻度 43 : 動詞種類 4 : 意味の数 3)
光る(15),笑う(12),する(9),輝く(3),その他(4)
ぱっ(順位 22 : 頻度 40 : 動詞種類 15 : 意味の数 3)
光る(5),上がる,輝く,なる(以上 3),投げる,弾ける(以上
2),現れる,起き上がる,咲く,飛びかかる,飛び込む,開く,
蒔く,見る,めくる(以上1),その他(13)
ぴょん(順位 23 : 頻度 39 : 動詞種類 8 : 意味の数 2)
飛び乗る(5),近づく,飛ぶ,飛び出す,跳ねる(以上2),飛び
越える,飛び込む,飛び付く(以上1),その他(23)
にっこり(順位 24 : 頻度 38 : 動詞種類 5 : 意味の数 1)
する(18),笑う(11),微笑む(2),言う,返す(以上 1),その他
(5)
ぼんやり(順位 25 : 頻度 35 : 動詞種類 15 : 意味の数 3)
する(9),考え込む(6),見える(4),見る(3),歩く,眺める(以
上 2),ある,過ごす,覚える,仰ぐ,考える,思う,目を開く,
来る,佇む(以上1)
ばたばた(順位 26.5 : 頻度 33 : 動詞種類 5 : 意味の数 6)
する(8),飛び立つ(6),暴れる(4),打ちつける,もがく(以
上1),その他(13)
はっ(順位 26.5 : 頻度 33 : 動詞種類 7 : 意味の数 3)
する(21),息を呑む(4),目を覚ます(2),思う,気づく,立ち
すくむ,踏みとどまる(以上1),その他(2)
ぐっ(順位 29 : 頻度 30 : 動詞種類 9 : 意味の数 4)
持ち上げる(7),当てる,変える,握り締める(以上 5),来る
(2),感じる,込める,近づける,直す(以上1),その他(2)
こんこん(順位 29 : 頻度 30 : 動詞種類 1 : 意味の数 4)
叩く(1),その他(29)
つるつる(順位 29 : 頻度 30 : 動詞種類 4 : 意味の数 3)
する(7),滑る(3),押す,なる(以上1),その他(18)
どっさり(順位 31 : 頻度 27 : 動詞種類 13 : 意味の数 1)
拾う(5),あげる(3),降る,摘む,作る(以上 2),ある,貰
う,負ける,する,落ちる,いる,食べる,咲く(以上1),その
他(5)
ぎゅっ(順位 33 : 頻度 25 : 動詞種類 9 : 意味の数 3)
握り締める(9),軋む(4),歪む,握る(以上 2),閉じる,
轢く,押し終わる,つぶる,掴む(以上1),その他(3)
たっぷり(順位 33 : 頻度 25 : 動詞種類 16 : 意味の数 2)
含む(4),ある,見る(以上2),届く,描く,入れる,する,読
む,詰まる,入る,飲む,表す,楽しむ,巻く,受ける,採る(以
上1),その他(4)
ぶるぶる(順位 33 : 頻度 25 : 動詞種類 3 : 意味の数 4)
震える(13),する(2),震え出す(1),その他(9)
ぐんぐん(順位 36 : 頻度 24 : 動詞種類 8 : 意味の数 2)
伸びる(7),遣って来る(5),なる(4),飛ばす,伸ばす(以
上2),育つ,上る,追い抜く(以上1),その他(1)
そろり(順位 36 : 頻度 24 : 動詞種類 4 : 意味の数 1)

入る,参る,進む(以上2),寄せる(1),その他(17)
とことこ(順位 36 : 頻度 24 : 動詞種類 2 : 意味の数 2)
歩く,上る(以上2),その他(20)
がたがた(順位 39 : 頻度 23 : 動詞種類 5 : 意味の数 5)
震え出す(9),する(3),言う,来る,鳴る(以上1),その他
(8)
びん(順位 39 : 頻度 23 : 動詞種類 9 : 意味の数 5)
立てる(6),来る(3),張る,させる,捻る(以上2),戻る,
張りつめる,する,立つ(以上1),その他(4)
ゆらゆら(順位 39 : 頻度 23 : 動詞種類 11 : 意味の数 1)
見える(4),揺れる(3),歌う,する,伸びる(以上2),上が
る,下げる,浮く,押す,暮らす,流れる(以上1),その他(4)
うっとり(順位 43 : 頻度 22 : 動詞種類 8 : 意味の数 1)
する(13),眺める(2),聞く,聞き惚れる,実る,見る,楽し
む,つぶる,その他(以上1)
ぐるぐる(順位 43 : 頻度 22 : 動詞種類 8 : 意味の数 2)
回る(11),する,走る,回す(以上2),泳ぐ,転げる,振り回
す,巻く,その他(以上1)
こっそり(順位 43 : 頻度 22 : 動詞種類 13 : 意味の数 1)
入る(6),伝う,塗る,見せる,拾う(以上2),話し合う,忍
び込む,起き出す,帰る,付ける,泣く,取りかえる,近寄る
(以上1)
さっ(順位 43 : 頻度 22 : 動詞種類 12 : 意味の数 3)
整える,横切る(以上5),逃げる,飛ぶ(以上2),通り過ぎ
る,引き抜く,渡る,舞い降りる,拾い上げる,消える,引き
上げる,進める(以上1)
そっくり(順位 43 : 頻度 22 : 動詞種類 6 : 意味の数 2)
持つ(2),動く,持ち上げる,似る,なる,写る(以上1),そ
の他(15)
がっかり(順位 49 : 頻度 21 : 動詞種類 1 : 意味の数 1)
する(20),その他(1)
くるくる(順位 49 : 頻度 21 : 動詞種類 9 : 意味の数 4)
回る(9),する,働く(以上2),踊る,丸める,流れる,浮か
ぶ,回す,舞う(以上1),その他(2)
さっぱり(順位 49 : 頻度 21 : 動詞種類 3 : 意味の数 6)
する(11),売れる,分かる(以上5)
そろそろ(順位 49 : 頻度 21 : 動詞種類 11 : 意味の数 3)
来る(4),帰る(3),突き出す,出掛ける(2),戻る,教える,
立ち上がる,始まる,放す,する,食べる(以上1),その他(3)
ひょい(順位 49 : 頻度 21 : 動詞種類 14 : 意味の数 3)
見る(6),持ち上げる(2),上がり込む,上げる,現れる,思い
つく,返す,担ぐ,出す,立つ,出る,飛び乗る,投げる,拾う,
その他(以上1)
ひらひら(順位 49 : 頻度 21 : 動詞種類 6 : 意味の数 5)
舞い上がる(4),させる(3),散る,飛び立つ,飛ぶ,飛んで
行く(以上1),その他(10)
わんわん(順位 49 : 頻度 21 : 動詞種類 3 : 意味の数 4)
吠える(5),泣く,鳴く(以上1),その他(14)
ぼうっ(順位 53 : 頻度 20 : 動詞種類 6 : 意味の数 4)
なる(9),輝く,霞む,する(以上2),現れる,煙る(以上1),

- その他(3)
- ぐったり(順位 54 : 頻度 19 : 動詞種類 3 : 意味の数 1)
する(10) , つぶる(6) , 倒れる(2) , その他(1)
- うきうき(順位 57.5 : 頻度 18 : 動詞種類 1 : 意味の数 1)
する(10) , その他(8)
- ころころ(順位 57.5 : 頻度 18 : 動詞種類 4 : 意味の数 5)
転がる(4) , 駆け出す, 膨らむ(以上 2) , 転がり落ちる(1) ,
その他(9)
- じっくり(順位 57.5 : 頻度 18 : 動詞種類 10 : 意味の数 2)
見る(3) , 考える, 掛ける, する, 見つめる(以上 2) , 味わう,
噛み締める, 飲む, 眺める, 調べる(以上 1) , その他(2)
- すいすい(順位 57.5 : 頻度 18 : 動詞種類 5 : 意味の数 3)
泳ぐ (13) , 滑る, 走る, 飛ぶ, 歩く, その他(以上 1)
- ぞろぞろ(順位 57.5 : 頻度 18 : 動詞種類 3 : 意味の数 3)
言う, 従える, 致す(以上 1) , その他(15)
- ぱちぱち(順位 57.5 : 頻度 18 : 動詞種類 5 : 意味の数 6)
させる (10) , 叩く(4) , する(2) , 跳ねる, 燃え上がる(以
上 1)
- さっさ(順位 62 : 頻度 17 : 動詞種類 6 : 意味の数 1)
歩く(6) , 行く, 帰る(以上 3) , する, 食べる, 逃げる(以上 1) ,
その他(2)
- ちょこん(順位 62 : 頻度 17 : 動詞種類 5 : 意味の数 2)
置く(4) , 立つ, 座る(以上 3) , 出す, 被る(以上 2) , その
他(3)
- どっ(順位 62 : 頻度 17 : 動詞種類 10 : 意味の数 3)
増す(5) , 吹く(3) , 出る(2) , 起こる, 遣って来る, 集まる,
上がる, 増え出す, 飛び込む, 噴き出す(以上 1)
- ざわざわ(順位 65 : 頻度 15 : 動詞種類 4 : 意味の数 2)
鳴る(9) , する, 分ける(以上 2) , 踊る, その他(以上 1)
- しげしげ(順位 65 : 頻度 15 : 動詞種類 3 : 意味の数 2)
見つめる(5) , 眺める(4) , 見る(2) , その他(4)
- ひょっ(順位 65 : 頻度 15 : 動詞種類 2 : 意味の数 2)
する (12) , 目を覚ます(3)
- がらがら(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 8 : 意味の数 6)
崩す(2) , 崩れ落ちる, する, 言う, 割れる, 鳴る, 倒れる, 閉
める(以上 1) , その他(5)
- ごろごろ(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 5 : 意味の数 10)
言う, 転がる(以上 2) , する, 鳴らす, 寝る(以上 1) , その
他(7)
- しいん(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 5 : 意味の数 1)
静まり返る(7) , する(4) , 静まる, 黙る, なる(以上 1)
- せっせ(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 7 : 意味の数 1)
編む(5) , 掘る(2) , 動く, 作る, 詰め込む, 働く, はじき返す
(以上 1) , その他(2)
- どん(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 4 : 意味の数 5)
撃つ(5) , ぶつかる(2) , 突く, 座る(以上 1) , その他(5)
- のんびり(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 5 : 意味の数 1)
する(5) , 歩く, 泳ぐ, 暮らす, 飲む(以上 1) , その他(5)
- ふっ(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 9 : 意味の数 5)
浮き上がる, 消える, 漏らす, 考え込む, 微笑む(以上 2) ,
見る, 戻る, 浮かぶ, 思い出す(以上 1)
- ぼっつん(順位 70.5 : 頻度 14 : 動詞種類 6 : 意味の数 2)
言う, 残る(以上 3) , 咲く, 住む(以上 2) , 座る, 呟く(1) ,
その他(2)
- ちらちら(順位 76.5 : 頻度 13 : 動詞種類 7 : 意味の数 4)
見え始める(5) , 見る(3) , 降る, 見える, 睨む, させる, 光る
(以上 1)
- つんつん(順位 76.5 : 頻度 13 : 動詞種類 1 : 意味の数 6)
蹴る(1) , その他(12)
- わいわい(順位 76.5 : 頻度 13 : 動詞種類 4 : 意味の数 2)
言う(8) , 集まる, 言い出す, はしゃぐ(以上 1) , その他(2)
- わん(順位 76.5 : 頻度 13 : 動詞種類 2 : 意味の数 2)
言う(4) , 吠える(3) , その他(6)
- かんかん(順位 81 : 頻度 12 : 動詞種類 1 : 意味の数 6)
なる(1) , その他(11)
- きっぱり(順位 81 : 頻度 12 : 動詞種類 1 : 意味の数 2)
言う(8) , その他(4)
- すべすべ(順位 81 : 頻度 12 : 動詞種類 1 : 意味の数 1)
なる(1) , その他(11)
- どきん(順位 81 : 頻度 12 : 動詞種類 2 : 意味の数 1)
する, 鳴る(以上 2) , その他(8)
- ぼん(順位 81 : 頻度 12 : 動詞種類 9 : 意味の数 1)
蹴飛ばす(3) , 叩く(2) , 入れる, 掬う, 飛ぶ, 放る, 湧く, 渡
す, 投げる(以上 1)
- きっ(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 5 : 意味の数 1)
結ぶ, やる(以上 3) , なる(2) , 凍り付く, 見る, その他(以
上 1)
- ちょい(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 4 : 意味の数 1)
する(6) , 出掛ける, 待つ, 突き出す(以上 1) , その他(2)
- ちょっぴり(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 6 : 意味の数 1)
覚える, 頑張る, 出す, 違う, 届く, やる(以上 1) , その他(5)
- でこぼこ(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 3 : 意味の数 1)
する(6) , ある(3) , なる, その他(以上 1)
- ばんばん(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 4 : 意味の数 3)
叩く(3) , やる(2) , 膨れる, 膨らむ(以上 1) , その他(4)
- ひっそり(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 9 : 意味の数 2)
する(2) , なる, 隠れる, 影を落とす, 咲く, 潜める, 息を殺
す, 並ぶ, 眠りに付く, その他(以上 1)
- ぶつぶつ(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 3 : 意味の数 4)
言う(8) , 唱える, 呟く, その他(以上 1)
- ふらふら(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 3 : 意味の数 4)
よろめく(5) , する(4) , なる(2)
- ぶらぶら(順位 88 : 頻度 11 : 動詞種類 3 : 意味の数 2)
出掛ける(5) , 歩く, 出る(以上 1) , その他(4)